

公開講座の開設主旨・目的等

私たちの豊かで文化的な生活に欠かせない多くの物資は、船による海運でもたらされています。海外から様々なものを輸入し、また、輸出することで日本の経済は成り立っているといっても過言ではありません。また、日本は島国であることを活かし、石油製品やセメント、鉄鋼材や製造工業品、化学薬品などの産業資機材を中心に、国内貨物輸送の約4割を内航海運が支えています。このように海運は”海”という世界に通じる無限の道を利用した日本の基幹産業なのです。

現在活躍する船(商船)は実に様々なタイプに分かれ、地球規模で日々の輸送を担っています。今回は日本の海運で活躍する”船”に焦点を当て、近代以降に発展してきた日本の商船の多種多様な姿とその役割をご紹介します。

講義日程・題目及び講師

回	講義日	時間	講義題目	講師
1	11月25日	13:00～14:30	在来貨物船から大型船用船へ	安達 直 (株式会社商船三井 元船長)
2		14:45～16:15	海上コンテナ輸送の現状	井本 隆之 (井本商運株式会社 代表取締役社長)
3				
4				
5				
6				

連絡先

神戸大学海事科学研究科 海事博物館

TEL:078-431-3564(月・水・金の午後のみ)

E-mail: siryokan@maritime.kobe-u.ac.jp

※メールアドレスの一部(ac.jpの前など)には、アドレス収集ロボット対策として半角スペースが挿入されております。メールアドレスご使用の際には、適宜修正願います。

(海事博物館不在の場合)

神戸大学 海事科学研究科 総務企画グループ

TEL:078-431-6200